

**開館40周年記念特別展  
「ビーズ—つなぐ・かざる・みせる」**

飾り玉、数珠玉、トシボ玉などを総称するビーズ。本展示では、私たち人類がつくり出した最高の傑作品の一つとしてビーズをとらえて、つくる楽しみ、飾る楽しみをおして日本や世界の人びとにとってのビーズの魅力を紹介いたします。

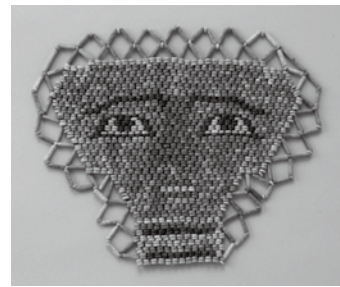
**体験コーナー**

タチヨウの卵の殻でできたビーズのアクセサリーなどをさわったり、タカラガイなどの自然素材をビーズとしてつなげたりする体験ができます。

日時 特別展会期中

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

会期 6月6日(火)まで  
会場 特別展示館



ミイラのビーズマスク(エジプト)

**■関連イベント  
ギャラリートーク**

「ビーズをもっと深く知るためのギャラリートークを開催します(各回30分程度)。  
会場 特別展示館

6月3日(土)  
①11時

アフリカのガラスビーズ  
講師 中村香子(京都大学)

②12時30分〜15時  
ビーズと織物  
講師 吉本忍(本館 名誉教授)

6月4日(日)

①11時/13時  
ビーズでつながってきた世界  
講師 池谷和信(本館 教授)

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)  
※タイトルは変更になる場合があります。

**開館40周年記念特別展**

「よみがえれ! シーボルトの日本博物館」

シーボルトが終焉の地ミュンヘンに残したコレクションをとおし、民族学博物館の父とも呼べるシーボルトの日本博物館が150年ぶりによみがえります。  
会期 8月10日(木)〜10月10日(火)  
会場 特別展示館



花鳥図衝立  
ミュンヘン五大陸博物館蔵  
©Museum Fünf Kontinente, Munich (MFK)

**音楽の祭日2017 in みんなく**

1982年にフランスで、夏至の日にみんなくで音楽を楽しむ「音楽の祭典」がはじまりました。みんなくでも、世界のさまざまな楽器を使って「音楽の祭日」を祝います。  
日時 6月18日(日)10時25分〜16時35分  
(10時開場)

会場 特別展示館 本館エントランスホール  
※申込不要、参加無料(展示をご覧になる方は、展示観覧券が必要です)

企画課「音楽の祭日」担当  
お問い合わせ先  
06・6878・8210

**公開講演会**

「メソアメリカとアンデスの古代文明と現在」  
メソアメリカのテオティワカン文明とアンデスのナスカ文明を発掘調査する考古学者などが、最新の研究成果をもちより、古代アメリカ文明について議論します。  
日時 7月1日(土) 14時〜17時  
(開場13時30分)

会場 本館第4セミナー室(定員50名)  
※申込不要、参加無料、先着順

みんなくミュージアムパートナーズ  
「点字体験ワークショップ」

目で読む文字から手で読む文字へ、点字で異文化コミュニケーション! 点字体験ワークショップを開催します。  
日時 6月10日(土)12時〜15時30分  
会場 本館エントランスホール  
※申込不要、参加無料

カレッジシニア  
「地球探究紀行」

開館40周年にちなみ、本館展示の地域区分(12地域)ごとに、地球に暮らす人びとの多様な営みを紹介します。  
時間 13時〜14時30分  
会場 あべのハルカス近鉄本店「スペース9」  
※要事前申込(参加状況により当日受付あり)、  
参加費1000円、定員各回50名

**友の会**

**新館長就任記念!  
大阪と東京で講演会を実施します**

**文明の転換点における博物館**

講師 吉田憲司(本館 館長)  
人類の文明は、いま、大きな転換点を迎えているように思われます。従来、それぞれ中心、周縁とされてきた人間集団のあいだに、創造的なものも破壊的なものも含めて、双方向的な接触と交錯が至る所で起こるようになってきました。それだけに、異なる文化を尊重しつつ、相互の違いを超えてともに生きる世界を築くための知が求められています。このような時代における博物館の役割についてお話しします。

**【大阪】 第468回友の会講演会**

7月1日(土)13時30分〜14時40分  
会場 本館第5セミナー室  
※当日先着順(定員96名)、会員無料(会員証提示)、一般500円

**【東京】 第119回東京講演会**

7月15日(土)13時30分〜14時40分  
会場 モンベル御徒町店4Fサロン  
※要事前申込(定員60名)、会員無料、一般500円  
※両講演会とも終了後、講師を囲んで懇談会(40分)をおこないます。

**民族学で解く千里ニュータウンと大阪万博**

講師 中牧弘允(吹田市立博物館館長、本館 名誉教授)  
会場 本館第5セミナー室  
※当日先着順(定員96名)、会員無料(会員証提示)、一般500円

**第75回体験セミナー**

「川とともに生きる—日本の鵜飼探訪 第2弾」  
三次の鵜飼漁見学と広島県の民俗芸能に出会う  
講師 卯田宗平(本館 准教授)  
葉杖哲也、田邊英男(ともに、広島県立歴史民俗資料館学芸員)  
日時 7月22日(土)、23日(日)  
(申込締切 6月15日(木))

**みんなくゼミナール**

時間 13時30分〜15時(13時開場)  
会場 本館講堂  
定員 450名(当日先着順)  
参加費 無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)  
第469回(6月17日(土))  
**つづかれる移民**  
講師 三島禎子(本館 准教授)

近年アフリカからヨーロッパへ渡る人びとに注目し、フランスをはじめとするEUの移民政策や、先進各国の移民の定義の差異について概観しながら、「移民」という存在について考えます。



パリ清掃局の制服姿をしたセネガル人

**みんなくウィークエンド・サロン  
研究者と話をしよう**

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)  
本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」調査している地域(国)の最新情報「みんなく」の展示資料について分かりやすくお話しします。

6月4日(日)14時30分〜15時 本館ナビひろば

**直前解説**

「音楽の祭日」を100倍楽しむ方法  
講師 出口正之(本館 教授)

6月11日(日)14時30分〜15時15分 本館ナビひろば  
「建築人類学はなにをめざす」  
講師 佐藤浩司(本館 准教授)

6月25日(日)14時30分〜15時15分 本館ナビひろば  
「世界都市ランキングと大阪」  
講師 太田心平(本館 准教授)

**刊行物紹介**

■上水流久彦、太田心平、尾崎孝宏、川口幸大 編  
『東アジアで学ぶ文化人類学』



昭和堂 2,200円(税別)  
東アジアを中心にフィールドワークする研究者が、それぞれのフィールドから文化人類学の基本を解説する。日本を含む東アジアは大きな変動の中にあり、国家間の関係も変化しつつある。文化人類学的立場から、東アジアを冷静に見つめる視点を養う。

■齋藤晃、Claudia Rosas Lauro 編

**Reducciones: la concentración forzada de las poblaciones indígenas en el Virreinato del Perú**

邦題: レドゥクション  
——ペルー副王領における先住民の強制的集住化

教皇庁立ペルーカトリカ大学出版会 100ペルーソル

本館の機関研究として実施された国際共同研究の成果。本書は、今日の南米の先住民の社会と文化の基本構造を形作ったといわれている16〜18世紀の強制的移住政策の実態解明に大きく貢献しており、今後、同テーマの必読書となると期待される。

